

関西武夫原会だより

事務局長 北 森 信 行 (法5回卒)

平成六年度から事務局を預かることになり、平成六年十一月十八日に何とか総会を無事に終了することができ、さて、平成七年はというと阪神大震災に始まりサリン事件、東京大阪の知事選の意外(?)な結果、円高株安はては金融不安と大変な年でした。

関西武夫原会としては会員の多数が神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市及び川西市の兵庫県並びに池田市、豊中市の大阪府の被災地に居住していて、平成七年度の総会の開催は危ぶまれた次第です。幸い会員の震災による死亡の知らせはなかったものの、家屋の損壊、家具の滅失等の被害にあった会員はほとんどだったと思われれます。

新年早々からの行事が次々と取り止められて行くうち、事務局としても中止を考えましたが、被災地在住の会員からは是非やってほしいとの声が強く開催を決意しました。

そのような次第で平成七年十一月十七日に、前回と同じ太閤園で関西武夫原会の総会、懇親会が開かれましたが、昨年と同じく七〇名の出席となりました。出席者数を増やしたいと念願していましたが、震災の後でもあり前回同数を維持でき、やれやれというのが裏方の偽らざる心境です。

ところで総会の模様ですが、本部からは江藤会長が都合により欠席されたのは残念でしたが、東京武夫原会から九鬼会長、笹原常任幹事長、金栗事務局長、その他の来賓として関西志文会(熊本学園大学)坂本副会長、熊本市大阪事務所今村所長(代理)の御出席をいただき、例年のように和気藹々の裡に無事終了しました。

今年度の特長を申し上げますと、若年層の出席を促すために会費一万円のところを平成元年卒以降は七、〇〇〇円としました。また、昨年同様同伴者の出席を募りましたところ二組のペアが出席(何れも相手は熊大卒)しました。珍客としては、谷会長(法1回卒)のところを訪ねて来た中国遼寧省出身の徐海洋女史です(昨年三月熊大修士修了、四月から大阪市立大学大学院)。同女を紹介した谷会長からは「アルバイトをしたいとのことなので心当たりの方はよろしく」とのことでした。

東京武夫原会から三名も出席いただきましたが、「アットホームな雰囲気の中に活気があり、まさに同窓会そのものと感じ、東京も是非参考にしたい」とのお言葉をいただき感激しました。

最後に関西武夫原会の為に日夜(?)努力している役員を御紹介させていただきます。

- 会 長 谷 正道 (法1回卒)
- 副会長 川添 正實 (法3回卒)
- 事務局長 北森 信行 (法5回卒)
- 会 計 本島 昭男 (法16回卒)
- 会計監事 江口 城生 (法3回卒)

